

新潟県

公民館だより

10

October 2023
No.827



TOPICS

8月30日(水)に第73回新潟県公民館大会が村上市民ふれあいセンターで開催されました。令和2年度からコロナ禍の3年間の県大会は、中止またはオンライン開催でした。今回は4年ぶりの参集型の開催を行うことができました。しかも、コロナ禍を機会に始めたオンラインも活用したハイブリッド開催となりました。村上市の主会場に194名、オンラインの各市町村会場に210名の参加者があり、県央地域より近くは会場に、遠くは各市町村でという傾向でした。



オンライン併用に当たり、村上市などの職員の方々のITを活用したご支援ご協力に改めて感謝申し上げます。



特集
第73回新潟県公民館大会を振り返って



●主催者あいさつ
新潟県公民館連合会
久保田千昭会長
(小千谷市公民館長)



●開会のことば
平山祐子 実行委員長
(村上市中央公民館長)

〈大会主題〉
「見つめ直そう
郷の学習拠点
公民館」
郷につどい、
郷でまなび、
郷がつながる



●永年勤続者表彰
県内で37名が受賞
会場には8名が参集



●主催者あいさつ
新潟県教育委員会
高橋裕之 教育次長



● 閉式のことば
渡部和人 県公連副会長



● 歓迎のあいさつ
高橋邦芳 村上市長



● 受賞者代表謝辞
村上市の内山忠男様

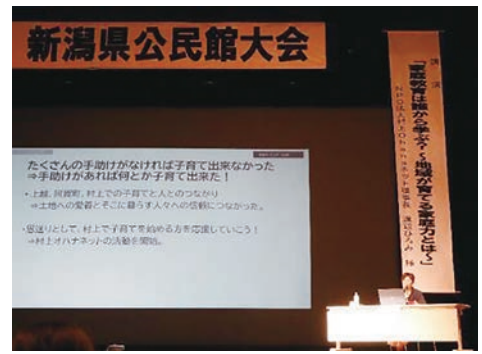


講演会
講師：村上ohanaネット
理事長 渡辺ひろみ様
演題：「家庭教育は誰から学べるか」
～地域が育てる
～ 家庭力とは～



● オンライン会場
(上越市では71名が視聴)

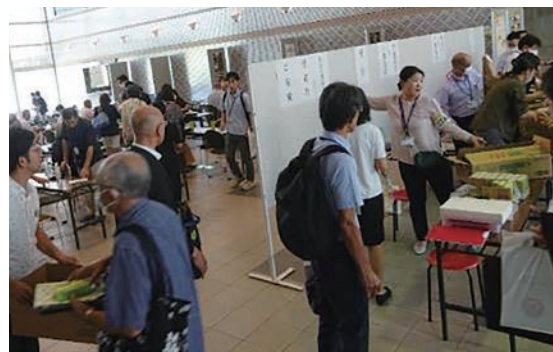
日本の最重要課題の一つである「子育て・家庭教育」を取り上げ、自らの上越市、阿賀町、村上市での経験を基に、「手助けがなければ子育てはできない、周りの人や地域の手助けがあれば何とかなる」という信念をお持ちになった。それを基に子育て支援を始められ、「村上ohanaネット」の立ち上げや、その後の具体的な活動などを紹介され、家庭の教育力と地域とのつながり、地域の教育力と地域との切さをお話しされた。さらに、公民館に求められることや役割にも助言をいただいた。



参加者にとって、地域のつながりや共助と関係が深い公民館活動の参考になり、共感や方向性を与えてもらえる講演であった。



● アトラクション
新潟県無形文化財大須戸能大須戸能保存会の皆様
昼食に引き続きアトラクションでは、大須戸能を楽しみにしていた参加者も多く、新潟県が誇る無形文化財に感動した様子だった。



● 昼休み
弁当配布 物品販売もあり



● 指導講評
鈴木智博 下越教育事務所社会教育課長



● 関口亨 新潟市関屋地区公民館長



● 堀田岩吉 糸魚川市田沢地区公民館長



● 事例発表
堀隆行 弥彦村公民館長

弥彦村公民館の堀館長は、多くの市町村が抱える課題である、生涯学習・地域づくりへの関心を高めるために、若年層から地域に関心をもってもらうために、社会教育を推進するために、という切り口で弥彦公民館の取組を発表された。また、社会教育委員の会と連携した事例も紹介されていた。

糸魚川市田沢地区公民館の堀田館長は、最近の災害多発と小中学校もコミュニケーションスクール(CS)推進の流れの中で、公民館と地元の田沢小学校が連携しての地域防災の取組を紹介された。CS事業が全市町村で開始される中で、先進的に進められている郷土教育、防災教育の事例を発表された。

関屋地区公民館の関口館長は、地域の特性を生かして「大人のための朗読入門」講座を企画段階から自主サークル誕生という到達点を設定されて、そこに向けての緻密な計画の企画と実行を発表された。また、最後に「達成感と未達成感、腹八分目作戦」という参考になる言葉をお話された。

最後に下越教育事務所の鈴木

社会教育課長が、3人の事例発表のそれぞれのポイントを図解し、わかりやすくまとめた指導講評をされて、参加者の理解の促進が図られた。また、文部科学省の生涯学習施策の重点を解説してされて、各公民館で運営の見直しを図るときの指針を示しておられた。

●大会旗引継ぎ
村上市から上越市へ



●次期開催地あいさつ
岩野俊彦 上越市立中央公民館長



●閉会のことは
佐久間伸一 副実行委員長



会場の参加者から大きな拍手。後方のカメラマンの方、一日中お疲れ様でした。

会場の村上市をはじめ下越地区公民館連絡協議会皆さんが中心となり、県内29市町村のご協力・ご尽力により、実りの多い大会が開催できました。初めての本格的なハイブリッド開催で、404名の参加者それぞれに実り多い大会になったと考えています。

◆◆令和5年度県大会永年勤続者表彰受賞者名簿◆◆

氏名	所属
伊藤喜男様	糸魚川市上早川地区公民館
島田由起子様	糸魚川市浦本地区公民館
森田昭彦様	上越市清里地区公民館
小山信二様	上越市大島地区公民館
武田美雪様	上越市大島地区公民館
和瀬田仙二様	上越市谷浜・桑取地区公民館
古川学様	上越市板倉地区公民館
三田村志津子様	上越市牧倉地区公民館
田中秀和様	出雲崎町中央公民館
渡邊モト様	出雲崎町中央公民館
幸田清様	燕市吉田北公民館
岡田幸一様	燕市西燕公民館
芦田三奈様	燕市粟生津公民館
森井円満様	燕市東公民館
海藤みのり様	燕市吉田公民館
金子洋子様	燕市南公民館
鶴巻良子様	燕市藤の曲公民館
坂井重二様	新潟市中地区公民館
清野みよ子様	新潟市中地区公民館
田川文子様	新潟市鳥屋野地区公民館
辻富士子様	新潟市亀田地区公民館
相馬真紀子様	新潟市新津地区公民館
木村チヨ工様	新潟市小須戸地区公民館
長澤恵美子様	新潟市小須戸地区公民館
中澤均様	新潟市坂井輪地区公民館
五十嵐加代子様	新潟市坂井輪地区公民館
石井敏子様	新潟市巻地区公民館
福島賞様	新潟市巻地区公民館
石川博康様	佐渡市両津地区公民館
中原明夫様	佐渡市羽茂地区公民館
斎藤基様	村上市山北地区公民館
山田就子様	村上市山北地区公民館
川村久美子様	村上市荒川地区公民館
内山忠男様	村上市荒川地区公民館
平野路子様	村上市荒川地区公民館
野澤香様	村上市荒川地区公民館
鈴木一昭様	村上市公民館運営審議会



ひろば

「弥彦ユースプランナー (YYP) 始動」

弥彦村公民館 館長 堀 隆行



弥彦村公民館では、弥彦村教育委員会が推進する「若者の声・願い・想いを村政・教育に」を受け、若者の声を引き出すための仕組みとして「弥彦ユースプランナー(YYP)」を社会教育委員の会と連携して、3年計画で実施することとしました。

村の将来に対する若者の関心を喚起し、若者層のリーダー養成と参加者拡大を目指します。大人との協議を通じて、村の様々な分野に関してアイデアを出してもらい、村の

状況を理解して、地域貢献活動に協力してもらおうものです。そして、YYPの活動や考え等を村広報紙やSNSで周知することで、若者の考えを村民に伝えるとともに、YYP以外の若者にも村の取組に関心を持ってもらうこともねらいとしています。

若者の意見を聴き、村政や教育に反映させることは、若者のニーズをよりの確に踏まえ、施策がより実効性あるものになることが期待できます。さらに若者にとって、自らの

意見が十分に聴かれ、自分たちの声によって地域社会に変化をもたらす経験は、自己肯定感や社会の一員としての主体性を高めることにつながり、ひいては、これからの社会の担い手の育成につながるものと考えます。

7月29日(土)に任命式を行い、活動を開始しました。ぜひ、この取組が成功し、村の将来にすばらしい成果をもたらすことになるように、皆さんどうぞ関心をもってご注目ください。



私の生きがい

(津南町)

私は今年79歳になりました。65歳まで働き老人会や社会福祉関係等の仲間にしていただき過ぎてまいりました。それまで特に趣味

もなかった私ですが、ある時、津南町には長生学園という高齢者の団体が有ると知りました。私はその中で2年前から新しく誕生した「バンドクラブトククラブ」に入会することにしました。そして、見事にはまってしまい、今まで続ける事が出来ています。

一本の紙バンドから籠バツクや小物が出来ていく事、それも自分の手で、配色の組合せ、編み方で最後にならないければわからない出来栄に一喜一憂する日々です。月に2回、2時間の講座ですが、持ち寄ったお菓子も出て、その時出席した仲間でワイワイ言



いながらのおしゃべりがまた楽しいこと。そして、この年になって新しい友人が出来たこともうれしいことの一つです。先生がまた良い先生で、間違ってもそれも有りだよと

誉めてくれるし、仲間とも教えたがり、教えてもらったりして作品を作りあげています。年一回、町の美術展に出品もしています。まだまだ私も現役で頑張る事が出来そうです。みんなこれからよろしくね。

(長生学園バンドクラブトククラブ 清水 良子記)



公民館総合補償制度



この制度は公益社団法人全国公民館連合会の団体制度です。市町村の公民館および自治公民館、また公民館に準ずるものとして全公連が加入を認めたその他の施設等は名称を問わずご加入いただけます。

3つの補償で公民館活動をサポートします。

1. 行事傷害補償

全公連見舞金制度
+ 災害補償保険(公民館災害補償特約、熱中症危険補償特約)

2. 賠償責任補償

賠償責任保険(施設所有
管理者特約、昇降機特約)

3. 職員災害補償

全公連見舞金制度+傷害総合補償
【就業中のみの危険補償特約、
入院保険金支払限度日数変更特約
(支払限度日数180日)】

補償範囲や対象者が広い制度です。

年1回の手続きで安心です。

掛金には割引制度もあります。

*このご案内は、本制度の概要を説明したものです。詳細については取扱代理店または引受保険会社までお問い合わせください。

■取扱代理店
(お問い合わせ・資料請求先)

エコー総合補償サービス株式会社 〒101-0047 東京都千代田区内神田2-6-9
TEL: 0120-636-717 (通話料無料) FAX: 0120-226-916 (通話料無料)
(受付時間: 平日9:15から17:00まで)

■引受保険会社

損害保険ジャパン株式会社 営業開発部第三課
〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1 TEL 03-3349-3820 (受付時間: 平日9:00から17:00まで)



(SJ22-11969) 2022年12月27日作成 [2212K-例]

実践記録シリーズ

ふるさと子ども絵画展

阿賀野市公民館

事業概要

阿賀野市が誕生した平成16年から「ふるさと子ども絵画展」が行われ、今年度で20回目を迎えます。自然豊かで歴史や文化に優れている郷土に、誇りを持つ子どもを育てようと、「好きです阿賀野市！私のふるさと」を合言葉に、市民による手作り事業として11月の「阿賀野市の子ども文化の祭典」として定着しています。

現在の「ふるさと子ども絵画展」は、地域の文化・風景・建物・故郷を連想させる人物・動物・物など、子どもたちの自由な着眼と発想を大切に、主題は設けていません。

また、「伝統芸能や合唱・バレエなどを学ぶ市内の子どもたちの成果を発表して、子ども同士の交流を図る「ふれあいステーション」も併せて同時期に実施しています。



〈R4 大賞作品〉



〈R4 市長賞作品〉

絵画展の準備

絵画展は、市内在住の幼・保・こども園、そして小・中学校、特別支援学校などから多くの出展があります。

はじめに賞を決めるために、審査会が実施され、県のジュニア展で審査されたことのある先生方が審査員となり、大賞や市長賞、特賞（学年ごと）、金賞、銀賞、銅賞、入賞などを決めていきます。

次に台紙貼りがあります。展示パネルに展示するために絵画の下に台紙を貼り、さらに作品名と出展者の名札を貼ります。

最後は、会場準備です。絵画展の前日の夕方に会場に集まり、仕事帰りの疲れも一切出さずに、展示パネル125枚とパネル足145本をみんなで設置した後、絵画を一枚ずつ丁寧に展示していきます。

これらの作業は、絵画展を開催するために市民が組織した実行委員会が主体となっており、教員のボランティアや市職員が参画しながら協働で進めています。

絵画展当日

絵画展は、土日の2日間開催されます。多くの市民が、子どもたちの素晴らしい絵を観覧し、豊かな人間性や個性に大きく感動されます。

金賞以上の作品に関しては、絵画展後に「優秀作

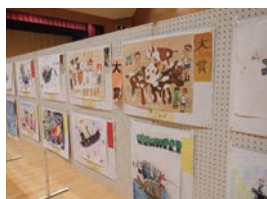
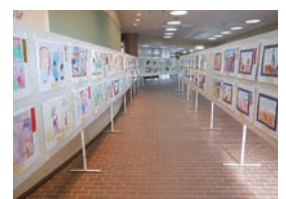


〈R4 審査会会場①〉



〈R4 審査会会場②〉

品特別展覧会」として市内の別会場で開催を準備しています。



〈R4 絵画展会場の様子〉

目標

現在の子どもを取り巻く地域の環境は、少子化や地域コミュニティの弱体化など社会変化が著しく、家庭や地域の教育力の低下が進み、困難を抱える子どもが多く様々な問題が深刻化しています。この課題に対し、郷土に愛着を持ち、地域社会の一員として人権尊重の精神や他者と共生していく力を育んでいくことが重要であると考え、絵画展を開催する実行委員会は次の目標を掲げています。

- (1) 子どもたちの積極的な社会参加を図り、表現する場を創り出し、社会全体で子どもの人権を考え、守り育んでいく風土の醸成を図る。
 - (2) 21世紀を担う子どもたちが、郷土に誇りを持ち、自然や文化に親しんで感動することにより個性豊かなたくましい人間性を養う場とする。
- この2点の目標を掲げ、「ふるさと子ども絵画展」の活動をこれからも続けていきます。

素顔拝見



小千谷市公民館
(小千谷市文化スポーツ課)
事務員 大淵 正さん



小千谷市公民館は、日本で最初の公立小学校である「小千谷小学校」の正面にあります。実は、小千谷公民館も県内最古参で昭和21年に設立されました。その長い歴史ある公民館に現在在籍する職員の中で一番の古株が、今回ご紹介する大淵正さんです。

担当は、地区高齢者学級、市民芸能まつり、市民音楽祭、そして今年からは施設管理も任せられる頼もしい方です。

特に、前職の経験を活かしたネットワークと知識で、地区高齢者学級の学級生からも絶大な信頼を受けています。また、私は市民芸能まつりの出演を決める会議が一番苦手なのですが、大淵さんは、持ち前の技でスルッとピンチをすり抜け参加者も笑顔で帰っていきます。時に問題が起き「アツサッサー！」(土地の方言で、「しまった。ヤバイ。」の意)と言って頭を掻いていることもありすが、いつの間にか解決しています。

大好きなお酒と奥さん、そして愛犬ゆめちゃんに囲まれて、メガネの奥の瞳が優しく笑っている大淵さんは、小千谷市公民館の大事な肝です。

〔小千谷市公民館主事 島峰 克也記〕

i インフォメーション i

新潟県公民館連合会のホームページをご覧ください。

県公連ホームページには、これまで公民館連合会の組織(目的、事業、役員体制)、上越、中越、下越、新潟市のそれぞれの地域での活動の紹介、各市町村の公民館一覧などを年度初めに掲載し、その後の更新は「公民館だより」を掲載するにとどまっていた。事務局としても更新が少なく、情報提供が不十分だと考えていました。

そこで、8月30日開催の「第73回新潟県公民館大会村上大会」と9月28日、29日開催の「第63回関東甲信越静公民館大会長野大会(関プロ大会)」の様子を写真で綴る形式で、それぞれの様子をアップしました。これらの情報は「公民館だより」にも掲載しますが、ホームページの方がより早く、詳しくお伝えできます。

今後は9月22日「中越地区公民館職員研修会(小千谷市会場)」、10月4日「下越地区公民館職員研修会」、10月18日「新潟市公民館職員 SNS 研修」などの様子をお伝えします。

また、令和6年11月7日、8日に上越市で開催される「第64回関東甲信越静公民館大会新潟大会(関プロ大会)」の準備状況も随時お知らせする予定です。

URLは<http://www.niigata-koren.com/>です。新潟県公民館連合会でも検索できます。QRコードも掲載します。



編集後記

猛暑の中での「新潟県公民館大会村上大会」では、村上市をはじめ大会運営に関わられた皆さんに深く感謝申し上げます。会場には「よかった」という声があかれました。また、「関プロ長野大会」には新潟県から23名の皆さんが参加され、研修を深めることも、来年の新潟大会に向けて情報収集もしてきました。今年の11月からは県公連役員の方から参加してもらう実行委員会も予定しています。皆さんよろしくお祈りします。(五井)

錦鯉発祥の地 新潟県小千谷市 錦鯉の里

国魚・錦鯉

「錦鯉」とは、色や斑紋があり観賞用に飼育している鯉の総称です。日本を代表する魚として昨年「国魚」に認定されました。

小千谷市

小千谷市は錦鯉発祥の地です。昔、冬の貴重な蛋白源として食べられていた黒い真鯉の中に、突然変異で生まれた色鯉を改良して錦鯉を作り出しました。

錦鯉の里

錦鯉の里は、いつでも本場の錦鯉をご覧いただけるとともに、錦鯉の歴史や鑑賞の仕方、品種などを紹介した世界唯一の施設です。

〒947-0028 新潟県小千谷市城内1-8-22

■E-mail: nishikigoi@ojiyasunplaza.jp ■<https://www.nishikigoinosato.jp>

■入館料: 大人520円、小中学生310円、乳幼児無料

■開館時間: 9:00~18:00 (12月~2月は17時まで) ■休館日: 年末年始

